

大沢真知子先生 最終講義

2021年3月13日(土)



3月13日、当研究所所長である大沢真知子先生の最終講義が行われました。先生の素晴らしいご功績や温かなお人柄もあり、当日は約150名の方々にご参加（外部の方はウェビナーでのご参加）頂きました。

近代労働経済学の生みの親であるミンサー先生との出会いから始まった先生の研究者としてのキャリア形成の一端やその後のご苦勞、転機など、大変貴重なお話をお伺いすることができました。

また、日本の女子労働の現状や非正規雇用の課題を明確にすることや、その解決策への試みが今後にも必要であることもお話しされました。

大沢先生は研究をご継続されるとのことですので、大沢先生の今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。

RIWAC-DA

(リワック・データ・アーカイブ)

国際婦人年（1975年）以降に実施された、女性とキャリア（生き方）に関する社会調査を多数収集し、その詳細書誌データをデータベース化しネット上で公開しています。

レポートや論文作成、ゼミ報告などに、多様な社会調査をぜひご利用ください。

所蔵件数 1593件（2021年3月5日現在）

<http://search.riwac.jp/>

RIWAC資料室のご紹介



資料室にキャリアに関する文献を多数所蔵しています。閲覧をご希望の方は研究所へお問い合わせ下さい。

お願い

当研究所では、女性とキャリアに関する社会調査のデータアーカイブ(<http://search.riwac.jp/>)を公開しています。女性とキャリアに関する社会調査資料をお持ちの方は、ご協力お願いいたします。

『現代女性とキャリア』発行

年に一回、『現代女性とキャリア』を発行しています。論文のほか主催した講演会やシンポジウムの記録、研究所の事業活動に関する報告を収録しています。また、投稿論文も受け付けております。詳細はHPをご参照ください。本書をご希望の方は送料負担のみでお送りできますので、メールにて当研究所へお問い合わせください。



News Letter

Research Institute for Women and Careers

RIWAC

日本女子大学

現代女性キャリア研究所

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

TEL 03-5981-3380 FAX 03-5981-3381

E-mail riwac@fc.jwu.ac.jp URL <http://riwac.jp/>

日本女子大学現代女性キャリア研究所シンポジウム コロナ禍で女性労働を見つめ直す

2021年3月13日(土)開催



日本女子大学成瀬記念講堂



3月13日(土)にシンポジウム「コロナ禍で女性労働を見つめ直す」を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、とりわけ女性労働者に大きな影響をもたらしました。コロナ禍によって何が明らかにされたのかについて、多方面の分野にわたるパネリストが、テレワークにおける男女の機会の不平等、コロナ禍における女性の雇用危機、見えてきた課題それらの対応策について、議論を行いました。

まず、シカゴ大学教授の山口一男先生から「新型コロナの影響下での在宅勤務の推進と男女の機会不平等」と題して、コロナに関する調査データの分析結果が紹介されました。コロナ禍では、男女の機会不平等が深刻化している実態が業種、従業員規模等により異なることなどについてご報告頂きました。

続いて(独)労働政策研究・研修機構主任研究員周燕飛先生から「新型コロナと女性の雇用危機」と題し、豊富な調査データの分析から、コロナ禍の雇用への影響が立場の弱い層に集中していることから男性よりも女性に雇い止めなど深刻な影響が及びやすい状況について説明がなされました。その根拠になる調査結果として「新型コロナウイルスと雇用・暮らしに関するNHK・JLPT共同調査」からの知見をまとめてご紹介頂きました。

最後に日本労働組合総連合会 常任中央執行委員 井上久美枝先生からは「コロナ禍における女性の影響と課題」とコロナ禍におけるジェンダー平等について、日本労働組合総連合会で実施した3つの調査、「男性の育児等家庭的責任に関する意識調査2020」、「テレワークに関する調査2020」、「コロナ禍における雇用に関する調査2020」の結果をご紹介頂き、コロナ禍におけるジェンダー平等課題に関する課題と提言などについてご報告頂きました。

その後、3名のパネリストに、現代女性キャリア研究所大沢真知子所長をコーディネーターとして加えて、ディスカッションが行われました。パネリストの知見の整理と共にコロナ禍の女性労働の解決策を中心に議論が行われ、より具体的な対応策が検討されました。

今回は、本学においても、コロナ感染症対策による入校制限のため、本学学生及び教職員の方のみ来場可能とし、それ以外の方々にはウェビナーでご参加いただくという形となりましたが、総勢約120名の方にご参加いただきました。

コロナ感染症の一日も早い収束を所員一同願っております。



山口一男先生
(シカゴ大学 教授)



周燕飛先生
(独)労働政策研究・研修機構 主任研究員 (日本労働組合総連合会 常任中央執行委員)



井上久美枝先生



研究会報告

コロナ禍における女性のキャリアへの影響と課題

発表：連合、RIWAC

8月25日、連合の方々と、女性のキャリアとコロナに関する研究会(非公開)をオンラインにて開催いたしました。当研究所より、コロナ調査から見えてきた、コロナ禍における男女の働き方へ与える影響の違いについての分析を説明し、連合の方からは、コロナ禍における労働相談などを通して見られる現状についてお話を頂きました。大変意義のある研究会となり、今後も定期的な情報交換を実施していくことにしました。

2020年8月25日(火)開催

労働現場でのジェンダー格差は是正されるのか、固定化されるのか

講師：金井 郁先生(埼玉大学教授)

去る1月19日、埼玉大学の金井郁先生をお迎えして、研究会を開催いたしました。ケアの必要性という視点から、特に、法施策が企業に行動変容を促し、雇用類型の変化へと繋がってきた様子について生命保険会社の事例研究を交えながら具体的かつ丁寧なご説明を頂きました。コロナ禍の影響などを含めた活発な質疑応答も行われ、大変有意義な研究会となりました。

2021年1月19日(火)開催

ドイツ・スイス企業におけるダイバーシティ・マネジメント

講師：武石 恵美子先生(法政大学教授)

3月2日、法政大学キャリアデザイン学部の武石恵美子先生をお招きして、研究会を開催しました。欧州企業の雇用システムの多様性をふまえ、ドイツとスイスの企業における人事管理の状況について、インタビュー調査の事例分析の結果をお話頂きました。日本でもジョブ型雇用の導入が検討されており、人事部門と現場管理職の役割など今後の参考となる点が多くあり、参加者と活発な質疑応答が行われました。

2021年3月2日(火)開催

コロナ禍後に真の働き方改革なるかーキーとなるのは生活時間アプローチー

講師：坪 由美子先生(弁護士)

去る3月17日、東京駿河台法律事務所 弁護士の坪由美子先生をお招きし、「コロナ禍後に真の働き方改革なるかーキーとなるのは生活時間アプローチー」をテーマとした研究会を開催しました。生活時間の法理念化について、ケアする労働者が解雇されるなど差別にあっての実態など、法律家としての観点から大変興味深いお話を伺いました。コロナ禍後の働き方改革のあり方についての課題や展望について参加者との活発な意見交換が行われました。

2021年3月17日(水)開催